

花きの県別生産出荷概況(4月見通し)

令和3年3月31日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	販売における現状と今後の見通し		
バラ	現状	国内産地は冬期の暖房を例年より低く設定しており、3月の入荷は例年に比べ少ない。輸入品は航空運賃向上の為、入荷は少ない(大田花き)。入荷量は少ないまま推移。歓送迎等の需要で引合いは強く、高値相場が続いた(FAJ)。昨年3月の動きを考え、各産地ハウスの温度を下げており、全体的に少な目。輸入も運賃の値上げで多くはない。思ったより卒業式がらみで動きは良い(第一花き)。入荷が少なく、高値で推移。気温の上昇・需要の強まりとともに、入荷は増える見込み(世田谷花き)。販売の見通しが不透明だったため、各産地出荷を抑えめにしていたが、卒業式等需要が戻ってきており、相場・入荷量は徐々に回復。例年の3月並みの販売展開となった(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	国内産地は遅れていた分、入荷量は増加すると思われるが、3月後半の気温次第で4月中旬以降少なくなる見込み。
		FAJ	高冷地、暖地ともに出荷量は増加する見込みで、厳しい相場展開が予想される。
		第一花き	3月の需要時には少ない。日照、気温が上昇すれば芽吹きも多くなり、入荷は徐々に増える見込みだが、需要は少ない。
		世田谷花き	潤沢に入荷が増え、単価は落ち着く見込み。延期となっていたブライダル等に期待。
東日本板橋花き	出荷量は微増傾向で上～中位等級中心の入荷となる見込み。需要は一旦落ち着き、もちあいの相場展開となる見込み。		
アルストロメリア	現状	愛知・長野中心。天候良なくて数量の増加が遅れた。彼岸需要に合わせて相場は高騰。下旬は数量増加し、相場も落ち着いた(大田花き)。長野、山形より入荷。量販中心で引き合い強く、中盤より小売需要増え、好調な販売となった(FAJ)。愛知・山形・長野など3月向けての出荷も安定し、入荷も増加傾向(第一花き)。他品目の高値を受けて、増量でも強い相場。各業態動く(世田谷花き)。愛知県中心の入荷。昨年より少なめの出荷量(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	各産地、出荷量が増加。愛知・長野に加えて北海道・東北も増加する。周年産地は早めに改植する産地も多い。
		FAJ	引き続き長野、山形より入荷。出荷ピークでロットのまとまった入荷となる見込み。
		第一花き	順調な入荷の見込み。
		世田谷花き	更に増量。例年通り安相場の見込み。
東日本板橋花き	愛知県中心の入荷。昨年並みの入荷予定だが天候次第で入荷増減あり。		